



### 【教育長答弁】

現在、市内には伊奈地区に図書館本館、谷和原地区に小絹分館があり、平成24年度末の図書館にある本の数は、本館・分館合わせて、15万2607冊で、市民一人当たり3・23冊となっています。

平成24年度の貸出数は、18万9289冊で、市民一人当たり4・01冊で、前年度と比較して17・5%増加しています。また、平成25年4月1日現在での市民の登録者数は、1万3874人で、人口に対する登録率は29・4%です。うち、みらい平地区の登録者数は、1920人で、市内登録者

全体の13・8%を占めています。

現時点での図書館分館の計画としましては、図書数が2万冊程度、閲覧コーナーは一般閲覧用として30席、個別学習用としてキャレルデスクという、前や左右の視界を遮る仕切り板のある机を10席程度設置する予定です。また、調べ物などに利用できるようインターネット閲覧用のパソコンも設置します。

次に、子どもの学力低下の問題についてですが、図書館分館を設置することにより、学習の場を提供することで、学力向上につながるべく期待しているとところでもあります。

## 小学校の冷水機設置について



わか 華 彩 員  
綿 議 員  
(伊奈中 3年)

小学生の時は冷水機が設置されておらず、水筒を持参していたからです。

小学生は1年生から水筒持参の徒歩で登下校しています。1Lの水筒は児童にとつてかなりの重さになります。さらに残念なのが、気温の高い日は1Lあっても足りなくなります。

近年温暖化の影響で猛暑日が続くことが増え、熱中症や脱水症状が心配されるようになりました。こまめな水分補給が予防策になりますが、冷水機が設置

【質問】  
現在、伊奈中学校には各階に冷水機が設置されており、生徒が積極的に使用しています。私も冷水機のおいしい水を気軽に飲んでいますが、同時に冷水機のありがたみやその必要性を強く感じています。なぜなら私が

してあれば容易に冷たくおいしい水を飲むことができます。重い水筒を持参しなくてもよくなりましたので、児童の負担は軽減されると考えます。市内の全小学校に冷水機を設置していただくことはできますか。

### 【市長答弁】

今回、綿議員から、市内の小学校に冷水機を設置してはどうかとの提案をいただきました。私は大変感心しています。普通は、よその所の良い所を見て、自分の所にも取り入れてくださいといったように、自分本位で物事を考えてしまう傾向にある中で、綿議員は、後輩の小学生のことを考えるとともに、広い視野で、つくばみらい市全体を考えていただいたことを大変うれしく思います。

地球温暖化対策については、市としても、市内進出企業のアシックスと提携し、オリジナルポロシャツを作りクールビズを推進したり、市庁舎などにグリーンカーテンを設けて、冷房の使用を抑えるなど、市役所を挙げて取り組んでいます。

学校におきましては、近年、暑い日が多く、授業にも集中しづらいし、知らず知らず熱中症になってしまふなどの心配もあります。そのようなことから、市では、冷水機を設置する計画

はありませんが、現在、市内の全小中学校に、平成26年度にエアコンを整備する作業を進めています。これにより、全員が涼しい環境で勉強することができるようになると考えています。

### 【教育長答弁】

まず、冷水機の設置の現状をご説明します。市内4中学校すべてに、2機ないし3機の冷水機が設置されています。小学校については、10校ある内1校だけ、冷水機が1機設置されています。そして、これらはすべて、PTAの方々からご寄付いただいたものです。

冷水機の設置については、設置場所の制限があることなどから、現在も、校舎の各階に1機程度しか設置していないように、それほど数多く設置することはできません。短い休み時間に、多くの生徒が利用するということは、難しい状況です。

そのようなことから、冷水機の設置の計画はありませんが、暑さ対策のため、全小中学校にエアコンを整備します。

また、各学校では、児童生徒が水筒を持参するようにお願いしています。熱中症の予防には、こまめに水分を補給することが重要です。学校でどのようなときに、この熱中症で倒れた生徒が多いかを統計で見ると、部活